

# 総合学科だより

## 「産業社会と人間」

### 課題研究クラス発表

夏季休業中に取り組んだ課題研究の成果をクラスで発表しました。今年度も総合学科一年生は、福島キッズin下呂、小坂200滝での沢登り、上級学校のオープンキャンパスなどさまざまな体験をしてきました。総合学科では、こうした体験活動と発表を繰り返します。高校生活の中で、さまざまな体験を積み重ね、自分の考えを伝える力を育みます。



クラス発表の様子



クラス発表の様子

## 「地域の課題解決に向けて」

九月十二日（土）に馬瀬で開催された**地方創生！馬瀬の未来を考える交流会**に本校生徒が参加しました。当日は、基調講演の後に、有識者がパネルディスカッション形式によって馬瀬地域の課題と今後の目指す姿などについて話し合いました。意見を求められた本校総合学科の半野田君は、「馬瀬は自然が素晴らしいというが、抽象的すぎる。そのすばらしさとは何なのかを考えている。自分たちの地域の魅力をどう具体的に発信して、地域づくりに実現させるかが課題だ」と発言し、将来馬瀬に戻り、素晴らしい地域にしたいと抱負を語りました。



参加生徒

- 2年生
- 二村 伊万里（総合学科）
  - 尾里 真之介（経営情報）
  - 千田 未依菜（普通科）
  - 二村 真世（普通科）
  - 千田 仁依菜（総合学科）
  - 半野田 拓人（総合学科）

## 観光プランコンテスト

### 二年連続で準グランプリ受賞

八月二十三日（日）に、大阪府茨木市にある追手門学院大学を会場に、第七回観光プランコンテストが開催されました。全国一〇八プランの中、上位十校が本選へと進み、それぞれが考えた観光プランのプレゼンを行いました。当日は、下呂市からも応援団に駆けつけていただき、大きな励みとなりました。結果は、二年連続の準グランプリ！参加した生徒たちはグランプリを狙っていたので悔しい思いもありましたが、これまで取材を通じて、多くの方々のご支援をいただき、上位入賞できたことは大変うれしい結果でした。今回の「ONTAKE山からTAKE ONSONTAKEから始まるオリンピックピックへの道」は、自然災害、風評被害、東京オリンピック、スポーツ観光を取り上げており、地域の抱える課題、今後期待される観光のスタイルを高校生の視点で提案し、大いに注目される内容でした。

また、九月十日（木）には、下呂市役所を訪問し、野村誠下呂市長に今回の報告をさせていただきました。あらためて、多くの方々への支援をいただいたのだと感じることができました。ご協力いただいた方々に感謝します。



《大会での発表の様子》

どの学校も魅力的な発表をする中、本校はパワーポイント、動画、寸劇などを取り入れ、より多くのことを伝えることができるように工夫を凝らしました。



《大会終了後の一コマ》

当日は、下呂市役所の方々をはじめ、多くの方々に応援に来ていただきました。大会終了後、みんなで記念撮影をした様子です。多くの方々から応援いただいていることが、生徒の励みとなりました。

## きこちゃん寺子屋



当日の様子

小坂町にある旧湯屋小学校で、きこちゃん寺子屋が開催され、総合学科健康福祉系系列保育コースの生徒が参加しました。当日は旧湯屋小学校で、子ども向けのさまざまなイベントが開催され、本校生徒は、保育実習で使った輪投げや魚釣りゲームを使って子どもたちと交流しました。廃校となった施設の有効活用の現場、子どもたちとの交流、多くを学んだ一日となりました。

## 萩原町商工祭参加



会場設営などの手伝いをしました



テントでのコロケ・綿菓子販売の様子

萩原町商工祭で本校生徒が綿菓子とコロケの販売をしました。初めての調理販売での程度売れるか不安でしたが、当日は大変な盛況で、綿菓子を購入する子どもたちの列が途切れることがありませんでした。参加した生徒たちは販売以外に会場の設営を手伝うなど、イベントの進行にも携わりました。終始笑顔が絶えず、充実した時間を過ごすことができました。

## 清風祭での地域交流



今年も清風祭に地域の保育園児とお年寄りを招待しました。健康福祉系系列の保育コース、介護コースの生徒が各クラスの展示を案内しました。子どもからお年寄りまで、多くの人たちに楽しんでもらうことができました。授業で保育や介護について学んでいます。実際の交流が一番の学びの場でした。